



東北大学校友会の由来:
 ロゴマークの萩を中心に、ますますネットワーク(友情の輪と和)が広まるようにとの願いを込めて名付けられました
 表紙建物:
 青葉山キャンパス 創造工学センター

いまひとつの東北大学物語 木碑・石碑及び学内展示物、保存資料の存在や由来を調べています

東北大学のキャンパス、構内等には実にたくさんの石碑、銅像、レリーフをはじめ植樹記念木碑等が存在しています。また、構内にも展示物や貴重な資料が保存されています。先輩達がさまざまな思いを寄せて記念植樹や石碑、木碑を建てたり、展示物や資料の保存を心がけたりされてきたものと拝察いたします。しかし、今や、そのいわれや思いが忘れ去られ、木碑等は朽ち果てはじめているものも少なくありません。そのような植樹、木碑、石碑、レリーフ等々を立てることに携わったり、そのいわれに思い当たることがありましたら、下記までお知らせ下さい。お知らせいただく折には、例えば
 [1]「〇〇年度卒業生一同とした植樹記念碑について」
 [2]おおよその位置、学内にしまわれているもの場合には品名やおおよその場所など明記していただき、その由来や思いなどをお寄せいただければ幸いです。さらにそれらに関する写真や出版物での紹介記事などがあれば是非お知らせ下さい。本学ではそれらのデータベースを作成し、記録し永く保存し、後世に伝えるとともに、広報活動としてもお送りいただける「由来」、「思い出」、「写真」等々は活用させていただきます。

[連絡先]東北大学総務部総務課総務係 | tel:022-217-4808 / e-mail:gen-som@bureau.tohoku.ac.jp

「東北大学基金」からの御礼とご報告

平成20年4月に創設いたしました「東北大学基金」に、多くの皆様からご厚志をいただいておりますことを、厚く御礼申し上げます。ここで紙面をお借りし、特に高額寄附者の方を以下のとおり顕彰させていただきます。

「特別功労賞」小田滋様[東北大学名誉教授]
 若手教員及び大学院生への国際法研究支援のため多額のご寄附をいただきました。
 「特別功労賞」久保野実様[卒業生である故久保野彰三様のご令兄様]
 昨年のホームカミングデーにお越しいただき、記念プレートを贈呈いたしました。
 「功労賞」佐藤幸子様[画家]
 100号の見事な絵画「松島緑風」をご寄贈いただきました。

[お問い合わせ先]東北大学基金事務局(総務部広報課内)
 tel:022-217-5905 / <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/kikin/>

訃報

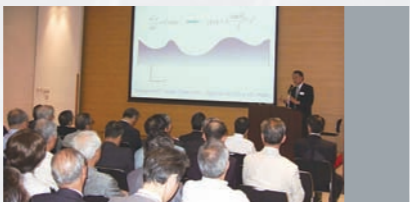
東北大学、東北大学全学同窓会、東北大学校友会の発展にご貢献されましたお二人の先生が昨年逝去されました。両先生の在りし日を偲びつつ心よりご冥福をお祈りいたします。

石田香雄 | 第15代東北大学総長・元東北大学全学同窓会長・東北大学名誉教授
 平成21年12月4日逝去
 石亀希勇 | 元東北大学科学計測研究所長・東北大学校友会代議員・東北大学名誉教授
 平成21年10月15日逝去

編集・発行:東北大学校友会広報委員会(委員長:福田 寛)
 連絡先:東北大学校友会事務局[東北大学総務部広報課内]
 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号 / tel:022-217-5059 / e-mail:alumni@bureau.tohoku.ac.jp

cover photo: Hasegawa Jyun / design: Matsui Kentaro

援団員4名のリードのもと、学生歌「青葉もゆるこのみちのく」を全員で歌い、大盛況のうちに閉会いたしました。



[ホームページアドレス] <http://homepage2.nifty.com/alps/tohokuuniv./index2009.htm>



山形県全学同窓会

山形県全学同窓会は、平成6年に発足し、2年に1回総会を開催しております。今年は11月29日に山形グランドホテルで、第8回総会が開催されました。総会には90名の参加を得て、大学本部・校友会より野家啓一理事[校友会代表理事]の御臨席を頂き、平成卒業の女性会員の司会で行進されました。野家理事からは、校友会の詳細や大学の現況の説明があり、一同、昔日を思い出しながら、興味深く聞き入りました。恒例の講演は、本県出身の花輪公雄理学研究科長・理学部長より「地球温暖化の科学と現状」と題したお話を伺いました。ノーベル平和賞受賞のIPCCの主要執筆者である花輪先生の講演は実に先進的なもので皆、身を乗り出し、時間があつと言う間に過ぎ、忘れ得ぬ良話となりました。懇親会では、顧問の高橋和雄元県知事、渡辺孝男参議院議員、佐藤淳一元会長のスピーチがあり、寂も大いに盛り上がり、学部・年代を越えた交流が随所で交わられました。若手のリードによる学生歌斉唱の後、会の発展を祈念しての万歳三唱が行われ、2年後の再会を約しながらの閉会となりました。

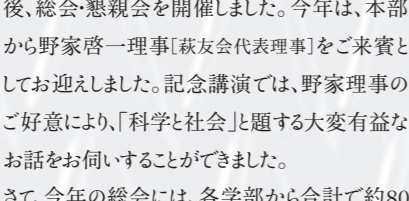


●東北大学ディスティングイッシュトプロフェッサーによる講演:「人間関係は犯罪を防げるか?—東京を事例として」東北大学文学研究科教授 佐藤嘉倫 / 「画像エレクトロニクスが拓く近未来社会」東北大学工学研究科教授 内田龍男
 講演会終了後に開催された懇親会では、活発に意見交換が行われ、本学関係者と参加者が一体となって「東北大学コミュニティ」の礎を形成する有意義な場となりました。最後に校友会広

福島青葉会

お盆近い平成21年8月12日午後6時から、福島市の福島駅西口「グリーンパレス」を会場に、平成21年度総会を開催しました。今回は、校友会から圓山重直流体科学研究所教授[校友会事務局長]を迎えての開催となりました。河田亨会長が「発足以来、会員卓話のメイブル会や史跡巡りなど各種愛好会で会員相互の親睦を図ってきました。また福島日仏協会などと協力し演奏会や映画鑑賞会を開催、地域交流も行ってきました。今後も会員と地域との交流の輪を広げたい」と挨拶。圓山教授は「東北大学校友会は校友会と改称して各地の会員のお力添えを頂きながら、「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指し続ける東北大学に協力して参りたい」と熱を込めて語りました。

議事では若い世代の会員増強に重点を置くことにし、総会後の懇親会は圓山教授を中心に大いに盛り上がり、時が過ぎるのも忘れるほどでした。



秋田県同窓会

東北大学秋田県同窓会総会・懇親会は、毎年11月に開催されます。その準備のため5月に事務局会議、7月に役員会議を開き、総会の直前に打ち合わせのための事務局会議も開会しています。今年は名簿作成の年[3年ごと]にあたり、さらに頻りに事務局は合会を持ちました。今年の名簿登録者は、文学部91名、教育学部74名、法学部111名、経済学部95名、理学部48名、工学部226名、医学部209名、歯学部32名、薬学部47名、農学部99名を数えました。個人情報取扱いが問題視される時だけに、幹事は丁寧な対応を心がけて名簿作

東北大学102周年関東交流会の開催

東北大学102周年関東交流会が平成21年8月2日[日]、東京駅前のサピアタワー[東京ステーションコンファレンス]で開催され、卒業生、在校生のご家族及び東北大学関係者など約300名が参加しました。
 [プログラム]
 ●挨拶:東北大学総長 井上明久
 ●東北大学の現況:東北大学副学長 北村幸久
 ●校友会活動紹介:東北大学理事 野家啓一

平成21年度各地区同窓会総会の開催

東北大学102周年ホームカミングデー開催

10月10日[土]～11日[日]の2日間、東北大学百周年記念会館[川内萩ホール]をメイン会場にて「東北大学102周年ホームカミングデー」を開催しました。ホームカミングデーは、卒業生が旧友や恩師と再会し、在校生と親睦・交流を深めていただくため、そして何より「母校に帰ってきていただきたい」という思いを込めた企画です。創立100周年を迎えた2007年から毎年10月の「体育の日」の直前の土・日に開催しています。3回目となる今年は、開催直前に台風が上陸し、各地で猛威を振りましたが、当日は、晴れ渡る青空の下、卒業生とご家族やご友人など多くの方がキャンパスに集いました。

東北大学校友会総会

とき:平成21年10月10日[土]11:10-12:00/
 ところ:東北大学百周年記念会館[川内萩ホール]

オープニングイベントとして、「東北大学校友会総会」を開催しました。はじめに井上明久校友会会長から、「校友会活動を通して、東北大学が果たすべき使命及び活動をご理解いただきながら、連帯意識を高め、『世界リーディング・ユニバーシティ』の実現に向けて一丸となって取り組んでいくことが重要であり、会場におられる皆様が一体となって『東北大学コミュニティ』を形成していただきたい」と挨拶がありました。続いて、野家啓一校友会代表理事から校友会の概要について紹介した後、卒業生代表の杉山一彦さん、元教職員代表の土生木典男さん、在校生代表の五十嵐翔さんがスピーチをし、思い出や抱負等を述べられました。さらに、将来年次別同窓会開催の折に世話役を担う20数名の第103期在校生幹事が登壇し、代表として細田雄大さんが挨拶。最後に学友会応援団のリードのもと、「青葉もゆるこのみちのく」を全員で合唱し、校友会総会を閉会しました。

仙台セミナー「新地域創造—自立的発展の基本戦略」

とき:平成21年10月10日[土]13:00-15:30/
 ところ:東北大学百周年記念会館[川内萩ホール]

米国を震源とする世界同時不況の影響により東北地域の経済も悪循環が続いているなか、如何に地域内の連携を強め、自立性を高める戦略を描くべきかを考える「仙台セミナー」を開催しました。これは、東北大学と河北新報社の連携事業である「東北みらいプロジェクト」の一環で、今回が4回目の開催となりました。当日は、東北大学の同窓生、一般市民の皆様を含め、約700名が参加しました。はじめに、東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長の清野智氏から「大交流時代 東北の可能性」と題して、人とモノの大交流を基軸とした地域振興の在り方等について、ご講演いただきました。続くパネルディスカッションでは、「エレクトロニクス革命 東北の拠点性」と題し、エレクトロニクス産業を中心としたものづくり立国をテーマに、4名のパネリストにより多角的な視点から意見交換が行われました。

パネリスト | セイコーエプソン株式会社代表取締役会長 花岡清二/東京エレクトロニクス株式会社代表取締役専務執行役員 北山博文/仙台市長 奥山恵美子/東北大学

原子分子材料科学高等研究機構教授 江刺正喜
 コーディネーター | 河北新報社常務取締役編集本部長 西川善久

在校生と卒業生との親睦会

[第1部]とき:平成21年10月10日[土]12:00-16:30/ところ:川内北キャンパス 川内体育館 [第2部]とき:平成21年10月10日[土]17:00-19:00/ところ:川内北キャンパス 厚生会館

一昨年約1,300名、昨年約1,600名が参加したホームカミングデーの最大イベントである「在校生と卒業生との親睦会」を、今年は川内体育館に会場を変更し開催しました。卒業生である企業の皆様と在校生との出会い、語らいの場に今回は、130社の企業・団体から卒業生が集まり、在校生との親睦・交流を深めました。親睦会第2部は、約1,000人もの在校生と卒業生に、井上明久総長をはじめ大学の教職員が加わり、学友会体育部の活動報告、企業提供の景品大抽選会等が行われ、和やかな笑顔がこぼれるひとときとなりました。

秋の文化フェスティバル

とき:平成21年10月11日[日] 公演=13:00-15:30 展示=10:00-16:00
 ところ:東北大学百周年記念会館[川内萩ホール]

学友会文化部の各サークル及び応援団が演奏・演舞や作品の展示などを行い、日頃の活動成果を発表しました。
 参加団体 | マンドリン楽部/Jazz Orchestra/男声合唱団/落語研究部/邦楽部/吹奏楽部/応援団/放送研究部/写真部/書道部/美術部/山岳部

記念コンサート

とき:平成21年10月11日[日] 18:00-20:00/
 ところ:東北大学百周年記念会館[川内萩ホール]

2日間に渡った「東北大学102周年ホームカミングデー」の最後のイベントとして、東北大学交響楽団、そして男声合唱団、混声合唱団、女声合唱団の在校生及び卒業生、市民有志の皆様による記念コンサートを開催しました。本学出身の在仙作曲家である岡崎光治氏[別掲]を音楽アドバイザー兼指揮者としてお迎えし、オーケストラと全体合唱、学生歌、男声合唱、混声合唱と、多様な形態の音楽を披露しました。世代や経歴を越えた総勢約300名の出演者が、ホームカミングデーの最終日をより印象深く彩りました。



1 校友会総会=会長挨拶/2 校友会総会=在校生幹事の紹介/3 校友会総会=「青葉もゆるこのみちのく」の合唱/4 仙台セミナー=清野智氏による基調講演/5 仙台セミナー=パネルディスカッション/6 在校生と卒業生との親睦会第1部/7 在校生と卒業生との親睦会第2部=トリアスロ部/8 秋の文化フェスティバル=吹奏楽部/9 記念コンサート



岡崎光治 [おかざき みつはる]

Okazaki Mitsuharu

昭和33年教育学部音楽専攻科卒業

NHK 仙台放送合唱団音楽監督/常盤木学園音楽科非常勤講師/尚網女学院短期大学非常勤講師

公孫樹への想い

「公孫樹(いちょう)」とは、私達の時代の「東北大学」の別名みたいなものでした。当時は片平キャンパスに大学生協の「公孫樹食堂」という食堂があり、学生生活で欠かせなかった思い出深い場所です。

東北大学での思い出

私の東北大学での最高の出来事は、福井文彦先生に巡り会えたことです。福島の磐城時代の音楽の恩師・若松紀志子先生のお口利きでお目にかかった、国立音楽大学の学長の岡本敏明先生から、「君、仙台に行くのなら、福井文彦さんの門を叩き、教を請いなさい」と言われました。そのお言葉通り、東北大学入学の昭和29年夏に、福井先生にお目にかかりました。それ以来、先生がお亡くなりになる昭和51年まで、「音楽をする」ことの凄まじさを、福井先生自らお示しになりながら未熟者の私に、それは厳しく教えて下さいました。その厳しい教えを受けながら、「師匠」というのはこのような人のことを言うのだ、と強く感じさせられました。鮮烈な師匠に出会い、その師匠の厳しくそして心からのご指導を受けることが出来た、贅沢な東北大学での4年間とその後でした。

東北大学102周年ホームカミングデー記念コンサート「音楽アドバイザー兼指揮者」記念コンサートの実行委員会委員長[学友会文化部長]である末光眞希教授なしでは、あのような充実したコンサートは実現し得なかったと思っております。末光先生の誠実な人柄と実行力が、多くの有能なスタッフを集め、それを末光先生が見事に束ねてステージを創り上げました。今回の記念コンサートは、今後への大きな夢、東北大学のこれからの、無限の広がりを持たせていくであろう夢を生み出しました。末光先生を核にしてこの大きく楽しい夢、願いを実現させていかななくてはならぬと思っております。

東北大学への期待

第2の「啓蒙の時代」を創り出し、世界に問いかけていって欲しいと考えております。「啓蒙」という思想、概念、これらは今こそ検討、検証されるべきものではないでしょうか。「普遍性」とは何を意味し、どのような重さでそれを私たちは自分の思考の中に取り込むべきなのか……今、「真」とは何か、「美」とは何か、このような議論は東北大学こそが熱く、真摯に行え得る条件に恵まれていると思うのです。

写真:記念コンサートにて指揮をとる岡崎氏



米山 進 [よねやま すむむ]

Yoneyama Susumu

昭和41年経済学部経済学科卒業

わかさ幼稚園理事長/東北大学校友会理事/(財)経和会記念財団理事長

少しでも他の人のためになる生き方が大切

「人に迷惑をかけないが人の為にもならない」という、世の中に居ても居なくても良いような生き方よりは、多少、人に迷惑をかけることがあっても他の人の為になる生き方が好きです。

東北大学在学中の思い出 | 就職する時—恩師の思い出

自分が本当にやりたいことに気づいたときに芳賀半次郎先生[当時のゼミの教授]に相談したところ、「原則として先に決まった就職先に行くものだが、一生の仕事なので自分がやりたいことをやりなさい。ただし、これから就職する人に影響が出るためとまずいので先ずは誠意を尽くしてお詫びすること。私も一緒に行ってお詫びしましょう」とアドバイスしてくださり、先に内定をもらっていた会社を断るときには一緒に会社まで行ってくださいました。会社側も大変驚いて恐縮し、来年以降も採用しますので大丈夫です、とっていただきました。芳賀先生は学生思いで、厳しい中にも実に優しい博愛主義の先生です。今ふり返って有難い選択が出来たと、今でも先生に心から感謝しています。

会員へのメッセージ

私がこれまで大切にしてきた、そして今も大切にしている言葉が3つあります。まず「誠実さ」です。先ほど紹介した恩師の芳賀先生は、しばしば「誠実が第一。従って、誠実さ以外の要素は隣の家が立派だ」と同じで、決して自己満足にはならない」とおっしゃっていましたが、本当にそう思いました。誠実さ、これは生きていく姿勢全体にかかわる重要な言葉だと思います。2つ目は「親しみと信頼のバランス」です。誠実で信頼できる人であることはとても大切なことです。しかし、信頼できても堅すぎて近づきにくい人では社会人として問題があり、そういう意味では親しみやすさが必要です。しかし、親しみやすくても軽すぎたり、いい加減で信頼できない人であれば、やはりいけません。やはり「親しみと信頼のバランス」がとれた人、それが社会が求めている人材だと思います。3つ目は「利他主義」です。競争が激しく、将来の光が見えにくい、ややもすると利己主義に落ち入りやすい現在のような社会だからこそ、他の人のためになる生き方、利他的な生き方が大切なのだと思います。

東北大学への期待

母校である東北大学には、これからも学生、先生方、職員の方々为一体となって、日本は勿論、世界でも一流の大学であり続けてほしいと思います。それが私だけでなく同窓生皆の誇りであり、喜びだと思います。私も、同窓生のひとり、そして校友会の一員として、微力ながら少しでもお役に立てるようにと思っております。

校友会 理事会・代議員会

平成21年6月23日開催
 理事会:出席者18名 委任状提出者13名
 代議員会:出席者41名 委任状提出者29名

【議事】

- 校友会の名称** | 「東北大学校友会」を最優秀作品として校友会の正式名称とし、「東北大学萩聯会」を佳作とすることが承認された。
- 細則の一部改正** | 「東北大学校友会役員等に関する細則」の一部改正について、代議員及び監事の任期を理事の任期に合わせ、1年延長し、平成22年9月30日とする内容の附則を盛り込む改正が承認された。
- 運営組織** | 新規に設置予定の諸委員会の設置計画について承認された。
- 基礎同窓会の登録等**
 1—登録同窓会の登録:第二高等学校尚志同窓会[代表者:須藤昭雄]及び仙台工業専門学校同窓会[代表者:錦戸光一郎]を本会に登録することが承認された。
 2—卒業[修了]年次別同窓会の登録:既存の年次別同窓会については、各局別同窓会と連携し、可能な限り本会及び東北大学が支援していくこと、校友会としては、今年度以降の卒業生を対象に年次別同窓会を設置していくことを確認の上、設置計画について承認された。
 5 | **平成20年度事業報告** | 平成20年度の実施事業[ホームカミングデーの開催、会費納入会員の募集開始、広報刊行物の送付、基礎同窓会との連携協力]について報告があった。
 6 | **平成21年度事業計画** | 平成21年度の事業計画[ホームカミングデーの開催、理事会・代議員会・総会の開催、会報誌・メールマガジンの発行、基礎同窓会との連携協力]について承認された。なお、今年度から校友会関係の諸行事については周年表記することとした旨報告があった。
 7 | **その他** | 情報の整備:個人情報整備及びデータベース構築に係る計画について報告があった。

校友会 代議員会

平成21年10月10日開催
 出席者37名/委任状提出者26名

【議事】

- 規約等の一部改正** | 「東北大学校友会」を正式名称にしたことに伴う本会規約及び細則の一部改正について承認された。
- 平成20年度決算** | 平成20年度決算[20.10.1-21.9.30]について次のとおり承認された。
 収入:16,098,845円/支出:2,628,348円/次年度繰越:13,470,497円。
 なお、諸事業を実施するにあたり、東北大学、財団法人東北大学研究教育振興財団及び財団法人青葉工学振興会から支援を受けていることから、当分の間、本会計からの支出は、出来るだけ抑制したい旨報告があった。
 3 | **平成21年度予算** | 平成21年度予算[上半期21.10.1-22.3.31]について次のとおり承認された。
 収入:19,770,497円/支出:1,410,000円
 4 | **その他** | 会費納入会員の呼称:会費納入会員の呼称を「プレミアム会員」とし、一層特別な意味合いを持たせて会員を募集していく旨説明があった。